第 2014-10 号

恵みと真理のニュース

2014 年 3 月の二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　神様は息子の道を予備して導いてくださいました。

私が幼い頃住んでた小さい田舎の村には丘にきれいな教会がありました。主日になると教会に行って過ごす時間が楽しくて幸せでした。子供時だったのでまだイエスキリストによる恵みと真理は知らなかったけれど一日中を教会で過ごして夜遅く家に帰って母に叱られても良いほど教会に行くのが好きでした。大きい問題なく体が成長するように信仰も成長して青年になって私よりもっと信仰が良い人に出会い 5 年間付き合って神様の恵みでソウルの教会で結婚礼拝を捧げました。そして姑に進められて新婚の家から近いスワン恵みと真理教会を通い始めました。
結婚当時、私の婚家は経済的に豊かではなかったですが家族の皆が信仰と愛で充満でした。特に姑は教会で区域長の職分を受けて熱心に奉仕し、神様の中心、教会中心の生活しながら私の信仰生活のモデルになってくださいました。他の兄弟たちも教会学校の教師と聖歌隊員として熱心に教会と聖徒を仕えました。すばらしい信仰の家庭の影響を受け私も二番目の子が一歳になってすぐ区域長の職分を受けました。幼い２人の息子を一人は負んぶして一人は手を取って教会を行き来しながら熱心に神様を仕えました。
そうするうちに１９９７年の末に IMF の時に旦那の兄の事業が不渡りして、そのあおりで私達の家庭まで影響が及びました。幸せだった２つの家庭が経済的に大変になりました。
婚家の生活まで助けなければならなかった渦中にかてて加えて旦那が重病にかかりました。胃癌でした。長男が中学校２年生で思春期の時でした。すぐ手術を受けなければならないと聞き私はその状況が怖くて恐れましたが真実な信仰者だった旦那は驚かないで“それでも良かったね。神様がこのように初期に発見されるようにしてくださって感謝する事だね。”と言いむしろ私を慰めました。旦那の話を聞いて私は気を戻して大胆になりました。全能なる神様に委ねて神様の助けを求めながら祈りました。旦那が病院に入院している間たまたま病室ことに行って伝道しました。主日になると様々な患者と家族が教会に出て決信する神霊な喜びも体験しました。そうしながら神様の恵みの中で旦那は手術をよく受けて早く回復されました。
なかなか勉強が上手で外国語高等学校を入学して通った長男が２年生になって急に医大学に進学したいとし文科から理科で移しました。心配したとおりはじめは大変でしたが新しい夢のため頑張って勉強して３年になっては成績が上がりどんどん安定的になりました。息子はきっと医大に行くと確信しながら自分なりに入試の準備に最善を尽くしました。私の夫婦もそんな息子を積極的に後援しながら祈りました。しかし、受験の結果は期待と予想に及ぶことができず、結局一年浪人するようになりました。　息子はストレスのせいか体の調子が悪かったです。私は息子に人生の心労を善なる神様の御心と導きに委ねて自分ができる限り最善を尽くしなさいと励ましました。神様に息子の将来を委ねて熱心に祈りました。息子が１年大学浪人生活を終えて再び試験を受けましたが、試験が終わって失望して泣きながら試験場を出ました。そんな息子の顔を見ると私の心がとても痛かったです。願った医大学を諦めなければならない成績表をもらって私と息子は期待が大きいければ失望も大きいという言葉の意味が何かその時切実に悟りました。あまりにも落段になり心をどうすればよいか分からなかったです。婚家でする事業が不渡りした時も、旦那が胃癌にかかった診断を受けた時もこれほど心が大変ではなかったようです。私達の夫婦は失望感がこのように大きいのに長男の心はどうだろうか、絶望して落段する息子を助けてくださいとただ泣きながら神様に祈りました。深く考えて祈った後旦那が息子にこのように慰めながら進めました。
“神様があなたが医師になる事を望まないようだ、だから一応工大に入ったらどうだ？行って頑張って勉強して、それでも必ず医大に行きたいという気がすればまたその時に医大の進学を準備してもよい。祈ってみなさい。”と言いました。まじめな息子は父の話の通りに従順してその年に工大に入りました。しかし、学校生活が楽しくなさそうに１年間ずっと息子の表情は暗かったです。そうするなかでも工学部で１等して全額奨学金をもらいました。以降息子の表情はだんだん明るくなりました。神様の恵みに感謝しながらもっと熱心に祈りして誠実に勉強しました。２年生になると教授の勧めで行政技術試験を勉強し始めました。複数専攻の科目まで一生懸命に勉強しながら３年を終えて休学までして本格的に試験準備をしました。はじめは二次で失敗しましたが次の年には３次まで合格しました。息子と共に私の家族は神様に栄光を捧げながら喜びを分かち合いました。試験に合格するだけでなく息子が医大を進学を諦めて願わなかった工大に進学した過程にも神様の摂理と導きがあったと深く悟りました。また時ことに落段して絶望した事を悔い改めて神様に感謝を捧げました。
“人間の心は自分の道を計画する。主が一歩一歩を備えてくださる。”ハレルヤ！神様の御心と計画がありましたがそれを知らなくて汗ながら焦慮した過ぎた時間を通して多くのことを悟り私の家族が神様の前にもっと行くようになりました。今は人間的な欲張りと焦りで神様の心を痛ませる愚かなものにならないようにします。ただ神様が導いてくださるとおりいつも喜び休まずに祈り常に感謝しながら生きる事を決心します。息子はパンギョ聖殿の聖歌隊で熱心に奉仕してカチョン政府庁舎で研修を受ける中で神様の恵みと教会の多くの聖徒達の祝福の中で同じ聖歌隊の伴奏者で奉仕していた信仰のきれいな姉妹と結婚しました。これもまた神様に限りない感謝を捧げます。息子がねがっている部署で働くようにまた、神様がご覧に喜びを持って働くように祈りましたが昨年末に発令され政府セイチョン庁舎で勤務しています。セチョン市でも私達の教会があって息子と嫁が相変わらす御言葉と聖霊充満なうちの教会を仕えることができて神様に感謝を捧げました。息子が生涯通して主を喜ばせながらキリストが尊くなることを祈りました。また国家のため大きく献身し働き者になる事を願いながら全ての栄光を神様に捧げます。

［信仰コラム］　サタンの術策を分別して能く大敵せよ

″終末にあなたたちが主の中のその力の能力で強健になって悪魔の詭計を能く大敵するために神様のよろいかぶとにみを固める…″(エフェソス 6:10~18)

すべての人に共通的なことがあります。それは霊的な存在でサタンであり、悪魔とも呼ばれます。サタンは人間を破壊させる恐ろしいものです。サタンの駆け引きには最終の目的があります。人たちを自分が入るようになった地獄に引き込むことです。その目的の達成に向けてサタンが持った方策があります。これは私たちが正確に知らなければなりません。聖書は私たちにサタンの攻撃する目的と手段を明確に知らせています。
サタンの第１の攻撃目標は聖書です。聖書は神様の言葉であり、人間の救援に対する真理を啓示です。キリスト教会は聖書の上に建てられています。聖書という基盤が崩れると、キリスト教会は破壊されてしまいます。そこでサタンの第１の攻撃する目標は聖書です。聖書の予言は歴史の中で成就してきました。聖書は様々な題材を扱いながら人間が質問する究極的な質問に対する答えをすべて挙げています。特に人間の罪について問題を解決して救援につて明瞭な答えをくれました。このような理由にサタンは全力を尽くして聖書を攻撃し、巧妙な方法で聖書が神様の言葉という事実を否定します。
サタンの第 2 の攻撃する目標は″イエスだけがキリストです。″という信念についたことです。神様は 父と子と聖霊によって三位が一体です。神様は聖者の神様です。永遠からいて、万物を創造した神様です。 父と子の神様の送ったことを受けて、罪人を救援するために、世の中にきました。キリスト教会は″十字架に打ち込まれなくて死亡して 3 日ぶりに復活したイエスだけがキリストです。″という信頼の上に建てられています。だから、イエスだけがキリストとは信頼がサタンの攻撃する目標になります。
サタンの第 3 の攻撃する目標は伝道についたものです。復活したイエスが昇天する前に残したことが二つあります。福音を伝えることと聖霊で洗礼を受けてほしいということです。福音を信じれば罪人が義人になる変化があります。鬼の子が神様の子供となって、地獄民が天国民になります。だんだんその体が生命の復活になって新しいエルサルレムで神様と永遠に暮らすことになります。だからサタンが一番憎んでいるのは、福音を伝道です。サタンは似非神学者とえせ宗教者を通じても悪賢い策略にたてます。悪魔の術策三つは似非神学者、えせ牧師、えせ信者を分別する基準になることもあります。聖書は神の啓示とインスピレーションにより記録された神様の言葉であり、信仰と行為の完全な標準です。十字架に打ち込まれなくて死んだ後、3 日ぶりに復活したイエスが唯一の救世主です。イエス・キリストを信じないすべての人に福音を伝えなければなりません。この 3 つの点について″私は全部信じます。″と答えなければなりません。ところで私たちが留意すべきものがあります。二重的な振る舞いをする人を見て分別することです。エセでも善良な牧者のように振舞うが、実際にはサタンの社主を受ける下手人として信者たちに歪曲された信仰をくれてその魂を滅亡させます。
私たちが神様の全身の甲冑をつけらなければなりません。真理である聖書の言葉、神のことばで心霊の中心をしっかりして神様の言葉に連結させます。主の中で平安を享受しながら、平安の福音を伝えるため、活動しなければなりません。神様の面倒をみることを信じてみながら信念を持っていれば、サタンが撃つ火矢は無用の物になります。’聖書を神様の言葉をわかって啓示されたイエス・キリストの拘束の恩を信じる私は救われた人だ。’という考えを持って生きなければなりません。すべての祈りと切な願いの聖霊の中で祈祷しとしました。皆さんは、悪魔の術策を確実に分別して神様の 甲冑で武装して能く大敵する聖徒になって下さい。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

全天候の信者

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

‘全天候’という言葉はどんな気象条件でも使うことができるとか活動することができることを意味します．暗いや濃い雲などによって視界が不明でも差し支えなしに活動するようにレーダーを取りそろえた航空機を ‘全天候航空機’と呼びます．日照りや洪水などの気象條件の下にも差し支えを受けない農業を ‘全天候農業’と言います．この地にはどこでも気象に変化があって日夜があるように，誰にも生に起伏と変化があります．信者たちの中には状況によって信仰状態の変わる人がいます．私たちはどんな状況でも相変わらず主神様を信じて愛する全天候信者にならなければなりません．使徒パウロは **“わたしは乏しいから、こう言うのではない。わたしは、どんな境遇にあっても、足ることを学んだ。わたしは貧に処する道を知っており、富におる道も知っている。わたしは、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に処する秘けつを心得ている。わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる。”（ピリピ人への手紙 4:11～13)**で言いました．このような告白はどんな状況でも相変わらず主神様を信じて愛する全天候信者たちが言えるのです．今日は全天候の信者になるために私たちが心に留めて適用しながら実践しなければならないこと三種類をよく見ます．

第一は、神様の主権と旨を素直に受け入れなければなりません．

聖書には欠乏と繁栄，平安と苦難そして逼迫の中に信仰の道で離脱して落伍されてしまった人々に関する話が記録されています．一方ではそれによってむしろ信仰をもっと純粋で深く発展させて行った人々に関する話も記録されています．この人々が全天候信者たちです．全天候信者たちから捜すことができる共通点があります．それは彼らが神様の絶対的な主権と旨を素直に受け入れるというのです．神様がなさる仕事が自分の期待に達することができないとか理解されなくても問題視しないです．
旧約聖書ヨブ記に登場するヨブはこんな事に卓越なお手本になります．ヨブはすごく富裕な財産家だったし息子七娘三人で裕福な生活をしました．彼は純然で正直であり，神様をうやまい畏れて悪を遠ざけました．ところである日災難が押しかけ始めてそのすべてのものを忘れてしまうようになりました．弱り目に崇り目でヨブの身にひどい悪瘡が出て灰燼に座って土焼き切れで自分の身を掻かなければならない都合にまで至りました．しかしヨブは神様をうらむ罪を犯さなかったし結局絶対者である神様の絶対的主権と旨を素直に受け入れるようになりました．そして神様の恩寵を着てこの後に 140 年を暮しながら以前よりもっと富裕な生活をするようになりました．

二番目は、神様を仕えることを生の目的にしなければなりません．

教会に通うからといって皆真実の信者ではないです．熱心であって真実に見えた人が ある日に背教者になっていることが珍しい事ではないです．背教と言うのは信仰を捨てて変えるのです．私利私欲や世の中の認定と褒め言葉を受けようと聖書の言葉と違い行動するのが背教です．背教する者等はいつもあって来たが末世には背教が有り勝ちで大大的に起きることが聖書に予言されました．私たちはどんな状況でも相変わらず信仰をしっかり守る全天候信者にならなければなりません．全天候信者たちから捜すことができるまた一つの共通点があります．それは彼らが神様を仕えることを生の目的にしているというのです．神様を仕えることを生の目的にすれば賢明で強い人になります．神様を仕えるのが生の目的な人は世の中のにとらわれすぎなくて生死を超越した姿勢に生きて行くようになります．
バビロンに虜になったユダヤ人の中シャデラク、メシャクおよびアベデネゴは賢くて明晳で王宮で特別な教育を受けて要職に登竜されました．そうしたある日，ネブカデネザル王が自分のために金で作った大きい金の像を立てました．金の像の落成式にバビロン都城のすべての長官と高い地位にいる人々がすべて招請を受けました．落成式が始まる時王の命令を頒布する者が大きく叫びました．“王が君たちに命令だから君達はすべての楽器音を聞く時に伏せてネブカデネザル王が立てた金の像にお辞儀をしなさい．誰でも伏せてお辞儀をしない者は直ちに激烈に燃えるふいごに投げこもう．” ところでシャデラク、メシャクおよびアベデネゴは伏せなかったしお辞儀をしなかったです．ネブカデネザル王は彼らにもう一度機会を与えるはずだから金の像の前にお辞儀をしなさいと言い付けました．シャデラク、メシャクおよびアベデネゴはこれを断って大胆に答えました．“王よう私たちが仕える私たち神様が私たちを激烈に燃えるふいごの中で充分に引き上げ出して王の手でも引き上げるだろう．あまりなくても王よう私たちが王の神々を仕えることもない王が立てた金の像にお辞儀をするのもないと分かってください．”この言葉を聞いて王は激怒しました．
王の命令を受けた軍人たちがシャデラク、メシャクおよびアベデネゴを縛り上げて溶炉の中に投げました．溶炉に投げられた三人の人は結縛だけ燃えてしまって溶炉の中で歩いて通っていました．驚いた王がその三人の人を呼び出したら彼らが火の中で出たが髪の毛一つ灸らなかったし着た服も少しも変わりがないし燃えたにおいさえなかったです．シャデラク、メシャクおよびアベデネゴは首ばかり一度下げればバビロン帝国で権勢と栄光をずっと享受することができました．しかし死の危険を冒して彼らは金の像の前にお辞儀をしなかったです．シャデラク、メシャクおよびアベデネゴには神様を仕えるのが生の目的であり残りは手段に過ぎなかったです．世の中ものなどを得るための目的に信仰生活をすることは正しい態度ではないです．聖徒は財物や権勢や名声を神様を仕えて神様に対した愛を現わすための手段で思わなければなりません．
神様を仕えるのが目的な人は聖書の言葉を信じて伝えるのに妥協がないです．聖書どおり信じて聖書どおり伝えます．
聖書の言葉に及ぶ事ができないとか聖書の言葉を度が外れて行くどんな哲学や思想，そしてどんな教理でも排撃します．パウロ使徒はコリント教会に行かせた手紙で次のように言いました．**“しかし、わたしたちは、多くの人のように神の言を売物にせず、真心をこめて、神につかわされた者として神のみまえで、キリストにあって語るのである。”（コリント人への第二の手紙 2:17)**．聖徒の皆さんは神様を仕えることを生の目的にしてください．そして世の中の誘惑，異端の惑い，不信者の逼迫，あらゆる患難がすべて飛びかかっても相変わらず主神様を信じて愛する全天候信者になるように願います．

三番目は、神様の属性と口約束を徹底的に信頼しなければなりません．

全天候信者たちから捜すことができるまた一つの共通点があります．それは彼らが神様の属性と口約束を徹底的に信頼するというのです．神様を向けた信仰はめどがはっきりしないのではないです．神様の属性が信仰の根拠です．聖書に神様の属性が啓示されています．神様は愛です．神様の愛は差別ない愛です．神様の愛はふんだんな愛です．神様の愛は切ることができない愛です．神様の愛は変わらない愛です．神様の愛は永遠な愛です．また神様は明哲と知恵がきりがないです．神様は聖徒各人に何が有益とか分かって一番良い時と一番良い方法も分かりました．また神様は全能で真実です．
神様を向けた信仰はめどがはっきりしないのではないです．神様の約束が信仰の根拠です．神様の約束は必ず成就します．神様の口約束を固く信じれば心の中に気落ちと絶望の立ち入る余地がないです．神様の属性と口約束を固く信じればすべてのものが合力して善を成すことを期待するようになります．そしてこんなに言うようになります．**“それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。”（ローマ人への手紙 5:3,4)．“神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。”（ローマ人への手紙 8:28)**．
いなずまがきらめいて雷声が起きる時に外にいる人はかみなりに打たれないように気を付けなければならないがそのいなずまによって空気の中の窒素が固定されて来た山と野に振り散らかれて地を肥えるようにしてくれます．だから清明な日だけ良い日ではないです．雷いなずまが走る天気も良い日です．私たちの一生に黒雲が覆い被せて雷が起きるも神様が私たちの有益のために奇妙な事を経営します．

聖徒の皆さんはすべての事に最善をつくしながら神様の主権と旨を素直に受け入れてください．聖徒の皆さんは神様を仕えることを生の目的にしてください．聖徒の皆さんは聖書に啓示された神様の属性と口約束を固く信じてください．そしてどんな状況でも相変わらず主神様を信じて愛する全天候信者になるように願いします．